ポータブルスタジオテレプロンプター

HDP-2000
HDP-2000F

取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう
大切に保管してください。

安全上の注意　必ずお守りください。

別売ＡＣで使用される場合を含む

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を
次の表で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

 警告

■不安定な場所におかない！ 禁止 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	■電源コードに重い物を乗せない！ 禁止 下敷にならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。	■水場に設置しない！ 水場使用禁止 火災・感電の原因となります。

異常時の処理について

 警告

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。	■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがります。	■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。 ●お買い上げの販売店に御相談ください。
■煙りが出ている、変なにおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源を抜く！ 電源を抜く	■電源コードが痛んだ場合は、交換する！ そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。 ●お買い上げの販売店に御相談ください。	

安全上の注意　必ずお守りください。

警告

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！

禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！

禁止

火災・感電の原因となります。

■本機を改造しない！

分解禁止

火災・感電の原因となります。

■水場で使用しない！

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等をはずさない！

分解禁止

感電の原因となります。
点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

■機器がぬれたり、水が入らないようにする！

禁止

火災・感電をおこすおそれがあります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

注意

使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！

禁止

バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

■本機に乗らない！

禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。

■使用しない時は、安全のため電源を抜く！

電源を抜く

火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を抜き、外部のコードをはずす！

電源を抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源を抜く！

電源を抜く

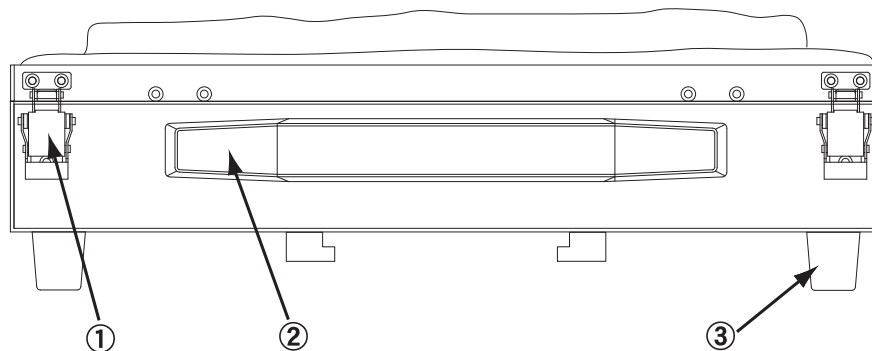
感電の原因となることがあります。

■１年に１度くらいは、販売店に内部掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

目次

各部名称と働き

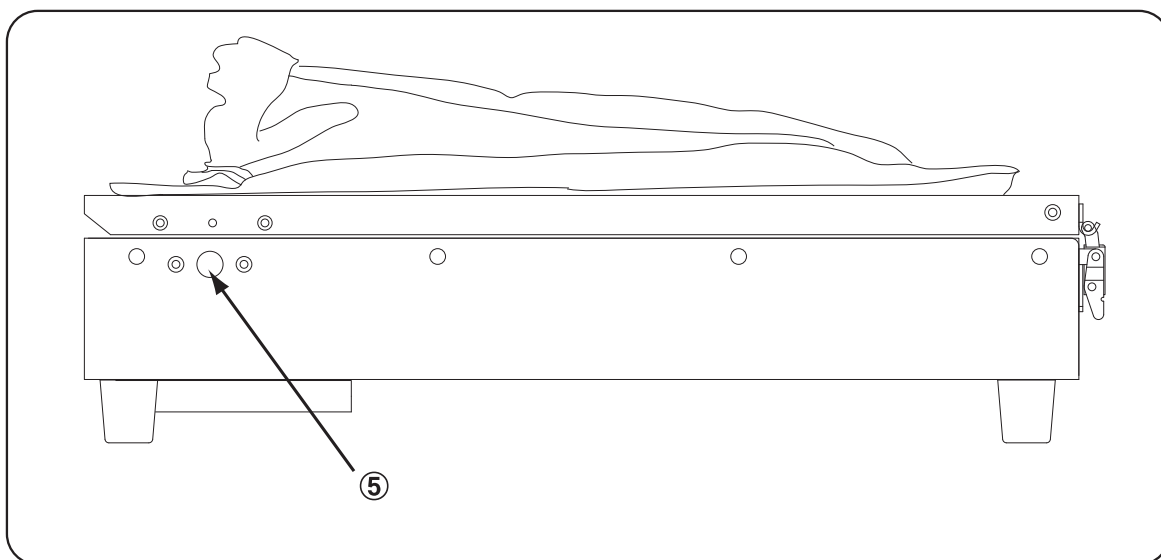
正面パネル　　Front Panel

①天板固定金具

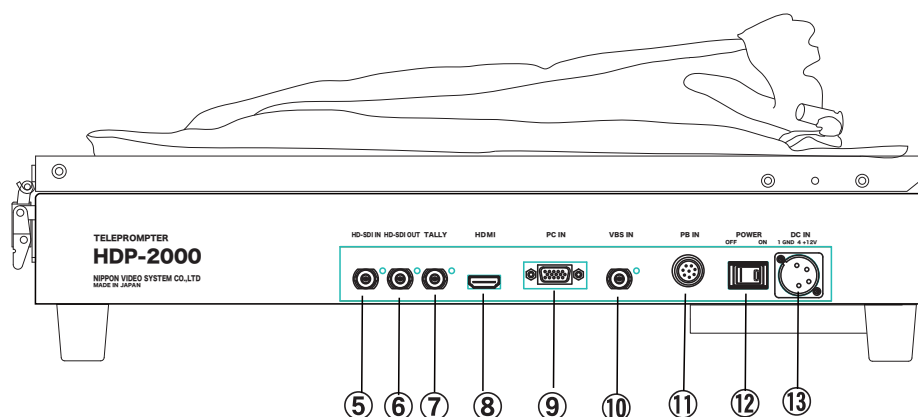
ハーフミラーが内蔵された天板を閉じ、固定します。

②取手

プロンプター本体を移動する時に持ちます。天板は必ず金具で固定してください。

③ゴム足

本体を机上、床上に置くことができます。

⑤天板ロックツマミ

ハーフミラー（天板）の角度を任意の位置に調節し、このツマミで固定します。

⑤ HD-SDI IN コネクタ (BNC)

プロンプタにHD-SDI信号にて入力する場合、BNCケーブルを接続します。

⑥ HD-SDI OUT コネクタ (BNC)

HD-SDI IN に入力された信号を他の機器で使用する場合、BNCケーブルを接続します。

⑦ TALLY IN コネクタ (BNC)

プロンプターにタリーを点灯させる場合、BNCケーブルを接続します。

入力	表示
0 V	OFF
2 V ～ 4 V	緑タリー ON
4 V ～ 5 V	赤タリー ON

⑧ HDMI IN コネクタ

プロンプタにHDMI信号にて入力する場合、接続します。

⑨ PC IN コネクタ (D-sub 15ピン)

プロンプタにPCから信号を入力する場合、D-sub 15ピンケーブルで接続します。

⑩ VBS IN コネクタ (BNC)

プロンプタにコンポジットビデオ信号にて入力する場合、接続します。

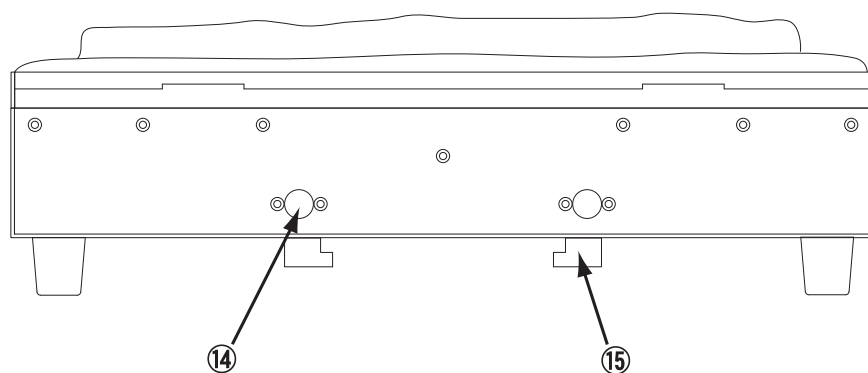
⑪ PB IN コネクタ (8ピン)

プロンプタをPC IN にて使用する場合、PB-RM1Aを接続して、スイッチを押すとHD-SDI IN に切り替ります。

⑫ POWER 電源スイッチ

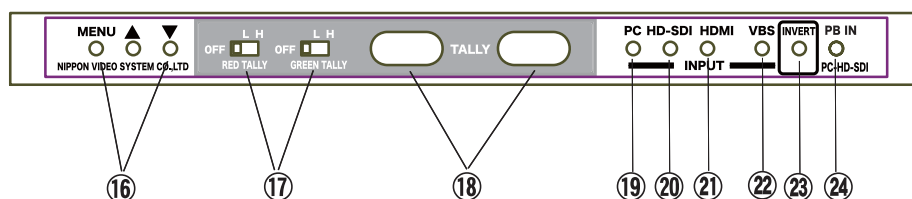
本体の電源をON/OFFします。

⑬ DC IN コネクタ (XLR 4P)

本体へ電源を供給します。

⑭ カメラ台座固定用ネジ穴

本体とカメラ台座を結合、固定するネジを挿入するネジ穴です。

⑮ カメラ台座レール

レールのくぼみにカメラ台座の本体受板を挿入して本体を結合し、ネジ(2本)で固定します。

⑯ MENU スイッチ

MENU と ▲ ▼ スイッチにより画面の明るさ等を調整します。

⑰ RED TALLY OFF/L/H ／GREEN TALLY OFF/L/H スイッチ

RED TALLY, GREEN TALLY の表示をOFF:消灯/L:減光/H:点灯に切り替えます。

⑱ RED TALLY／GREEN TALLY 表示

RED TALLY　　タリー入力信号 = 4 V ～ 5 V のとき点灯
GREEN TALLY　タリー入力信号 = 2 V ～ 4 V のとき点灯

⑲ PC スイッチ

PC IN 入力の信号の表示に切り替えます。

⑳ HD-SDI スイッチ

HD-SDI IN 入力の信号の表示に切り替えます。

㉑ HDMI スイッチ

HDMI IN 入力の信号の表示に切り替えます。

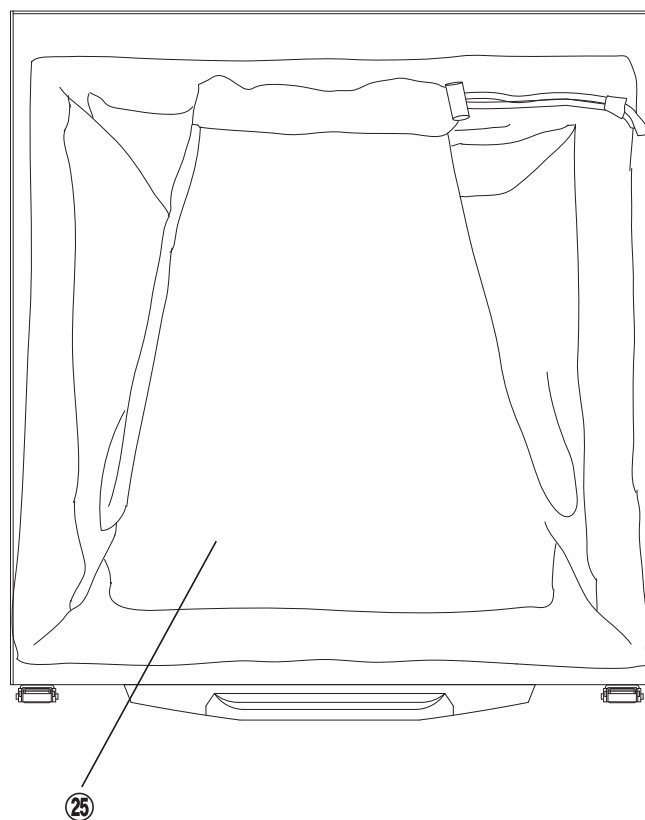
㉒ VBS スイッチ

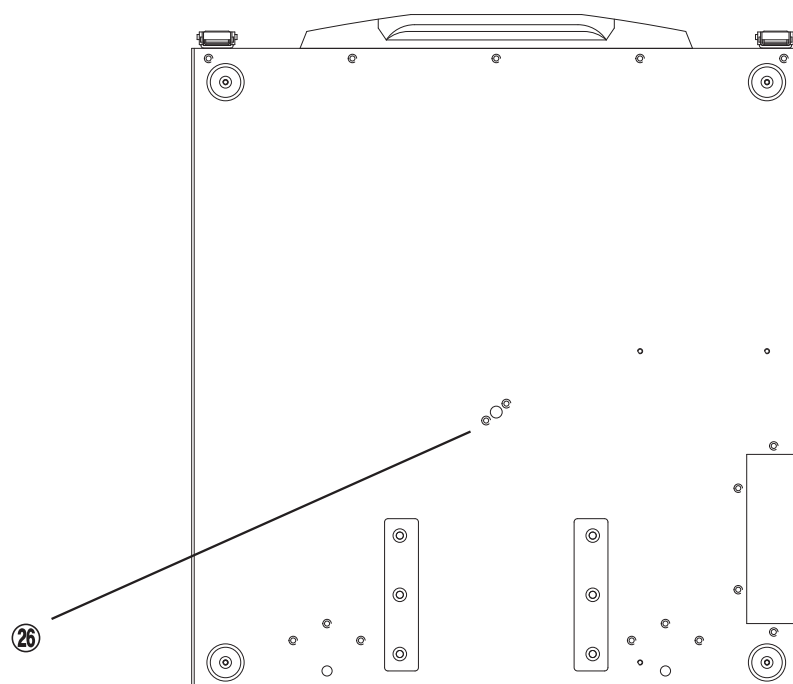
VBS IN 入力の信号の表示に切り替えます。(コンポジット)

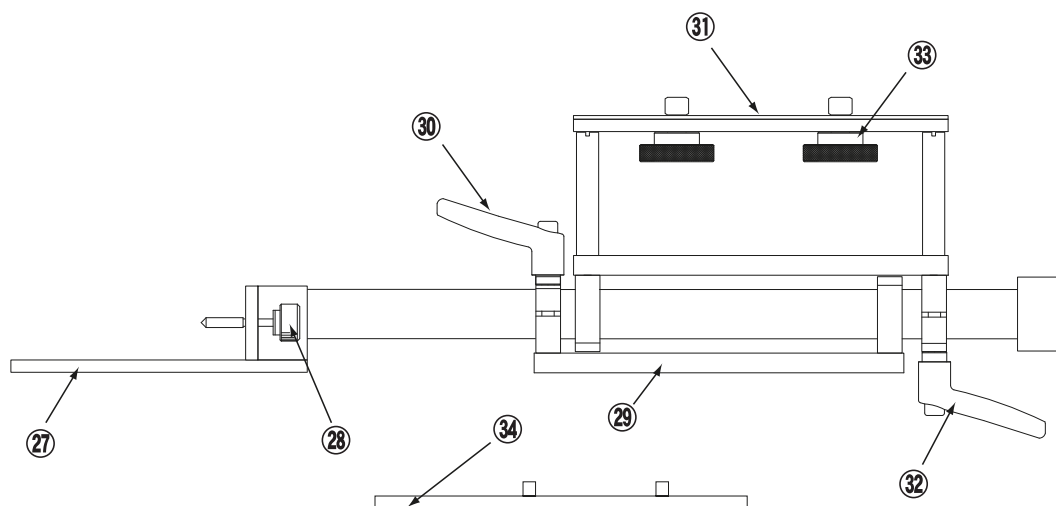
㉓ INVERT スイッチ

プロンプターの表示を正像/鏡像に切り替えます。

㉔ PB IN スイッチ

PC IN 入力に設定されている(PCスイッチが押されている)場合、このスイッチが押されている間
HD-SDI IN に切り替わります。(注意：表示が切り替わるまでに少し時間がかかります。)

㉕ 遮光カバー

カメラのレンズの先端を中に入れ、口元を絞って外光を遮断します。

㉖ 三脚用ネジ穴 (サイズ1/4インチ)

プロンプタ本体のみを三脚に固定する場合は、このネジ穴を使用します。

㉗ 本体受板

プロンプタ本体とカメラ台座(スライドユニット)を結合させる時本体を載せて支持する板で、本体下面のレールに挿入します。

㉘ 本体-カメラ台座固定ネジ

プロンプタ本体とカメラ台座を結合し、固定します。

㉙ 三脚固定板

プロンプタ-カメラ台座を三脚に固定するネジ穴(1/4および3/8インチ)の開いた下板

㉚ 三脚固定板ロック金具

スライドする三脚固定板を任意の位置で固定するネジ金具

㉛ カメラ固定板

プロンプタ-カメラ台座にカメラ,またはカメラを
装着する三脚ベースを固定するための上板

㉜ カメラ固定板ロック金具

カメラ固定板をスライドさせカメラの前後位置を自由に調整し固定するネジ金具

㉝ カメラ固定ネジ

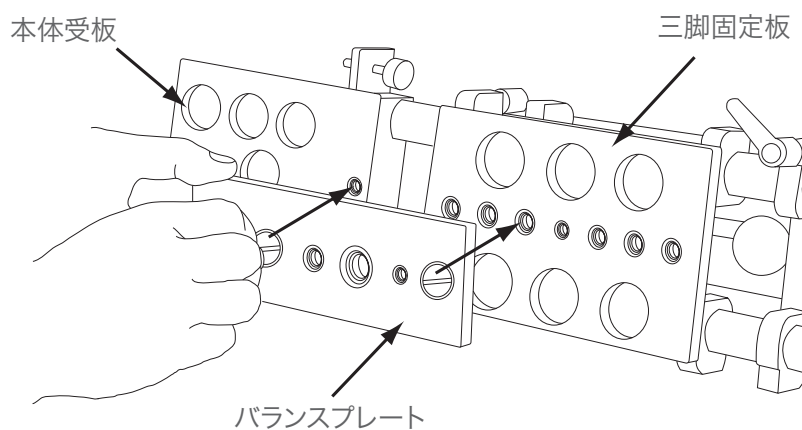
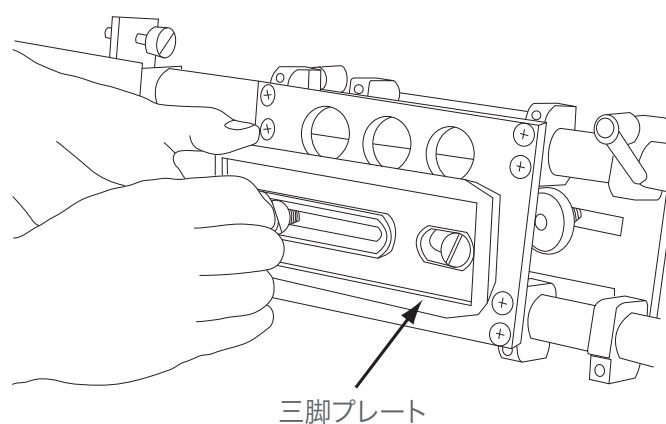
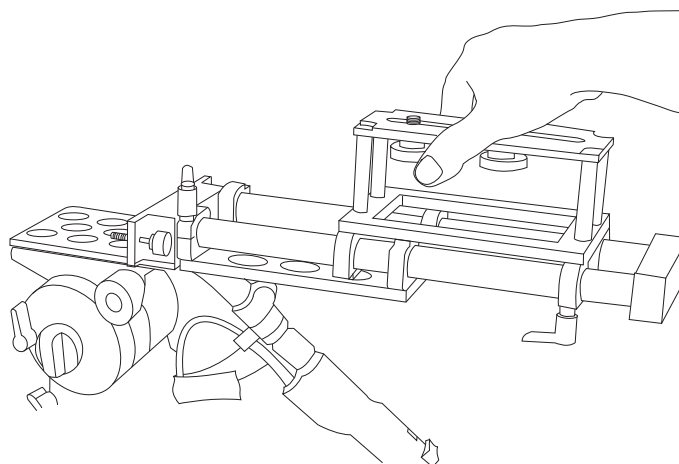
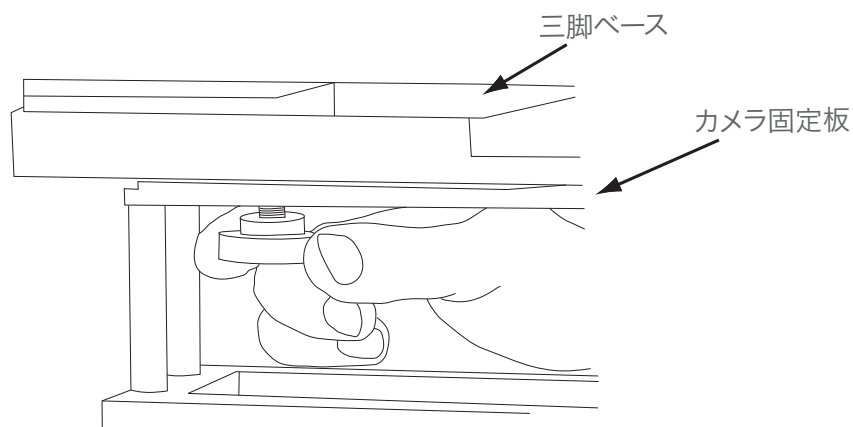
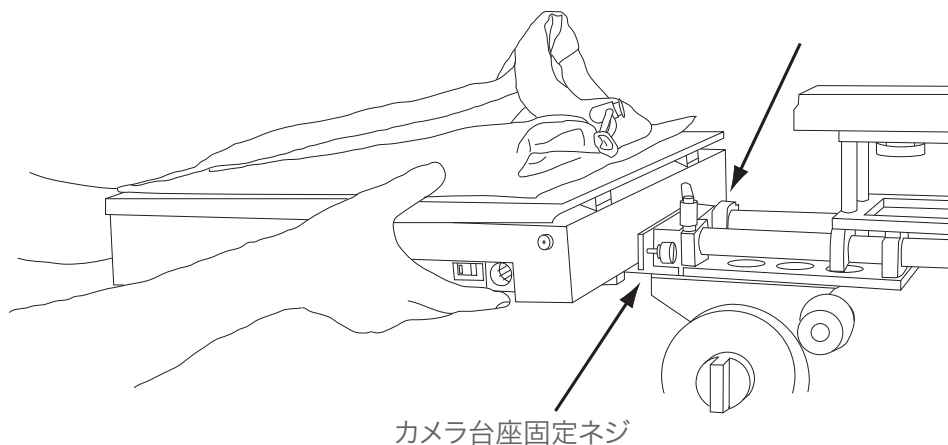
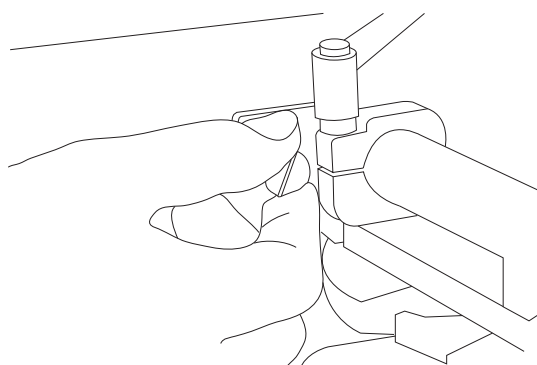
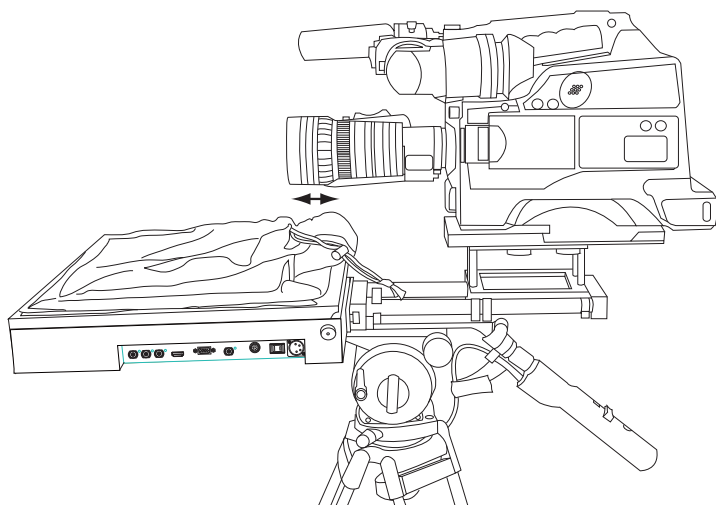
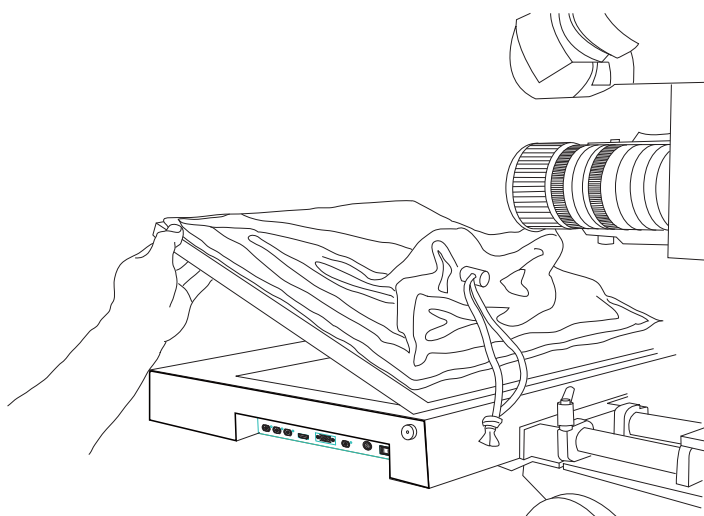
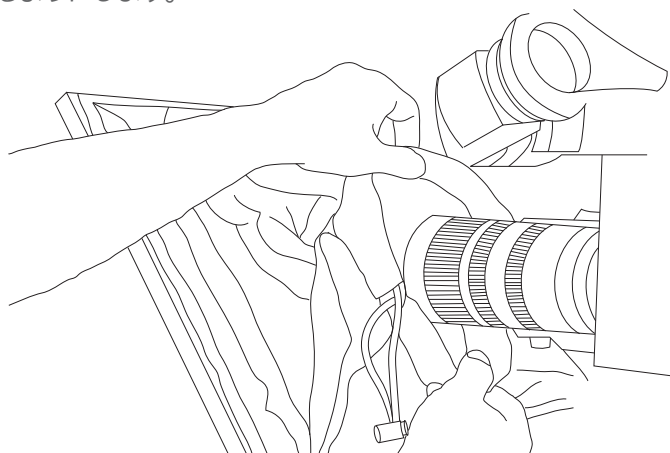
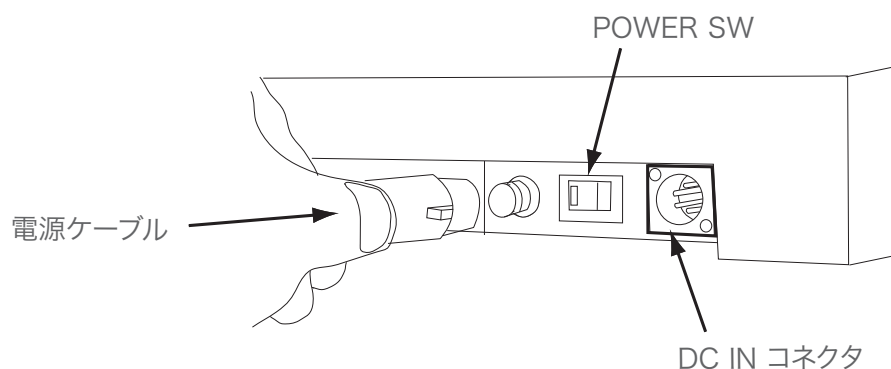
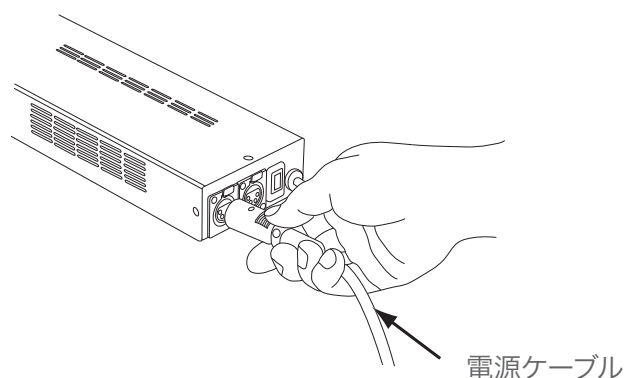
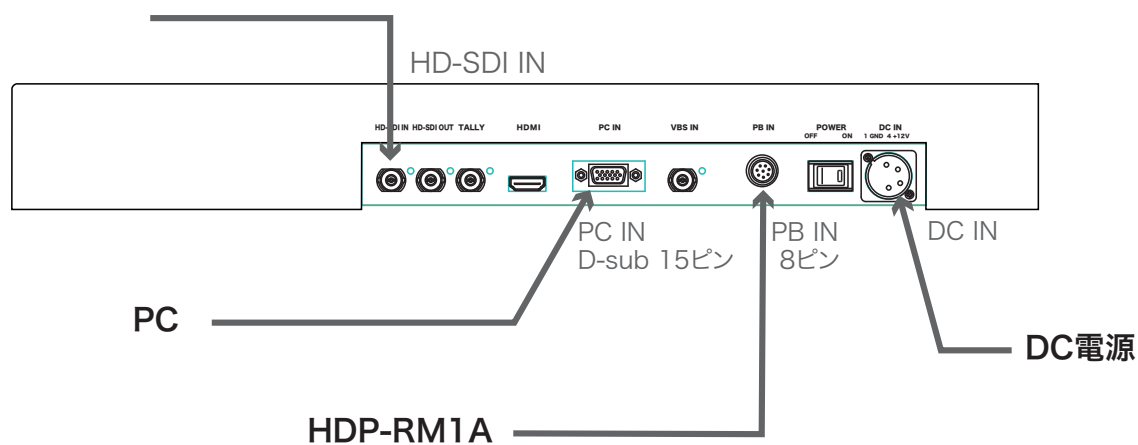
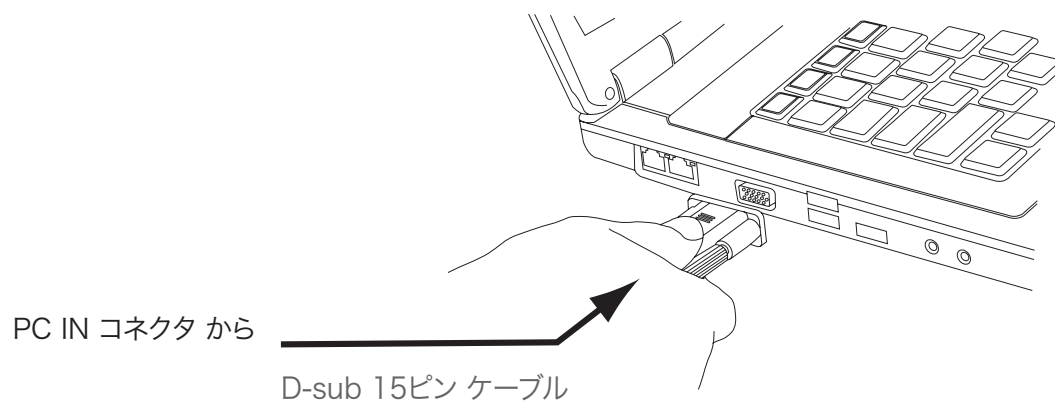
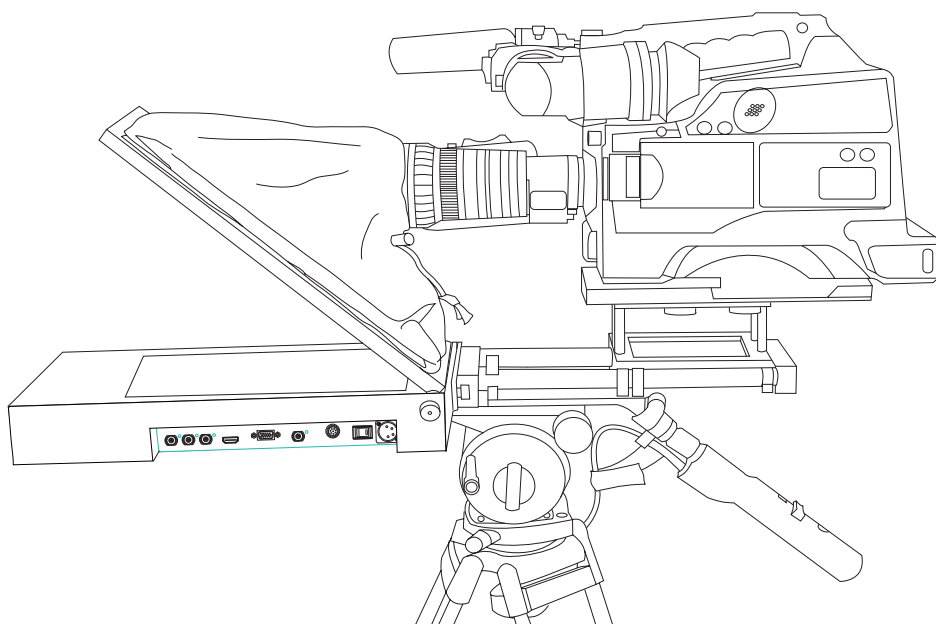
カメラまたはカメラを装着する三脚ベースを固定するネジ(3/8インチ,2個)

㉞ バランスプレート（スライドプレート）

小型カメラの使用で重心が前方に来る場合に、プロンプター本体とカメラがバランスする前方に
三脚プレートの位置を移動するためのプレートで、本体受板と三脚固定板にネジで固定します。

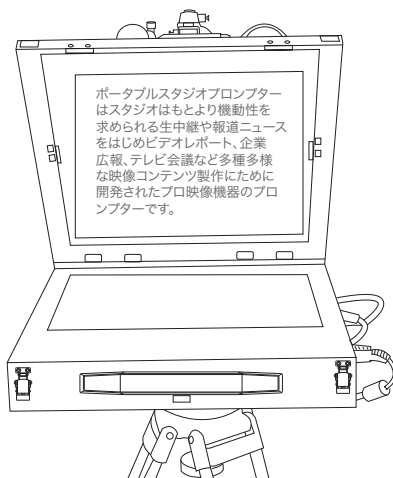
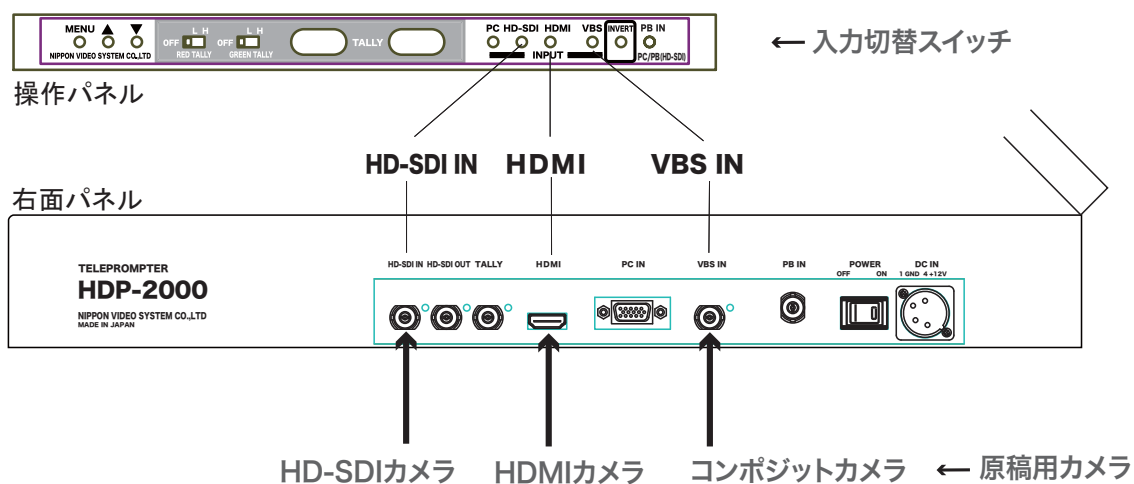
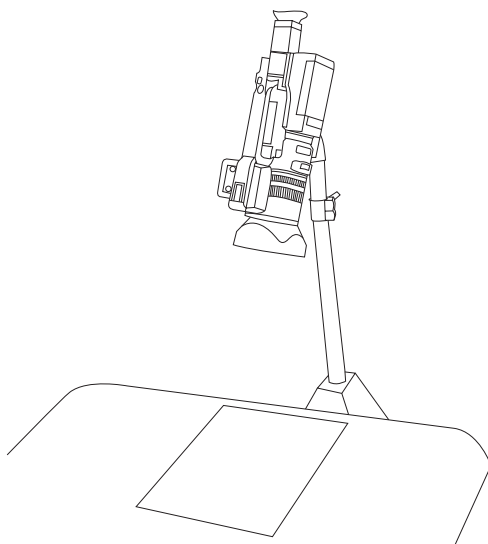
主な使用方法

■組み立て方法

1.使用するカメラが小型の場合または三脚プレートが小さいタイプの場合、カメラ台座にバランスプレートを使用します。カメラ台座の本体受板および三脚固定板に付属ネジにてしっかり固定します。

2.カメラ台座(バランスプレート)に、使用する三脚プレートを三脚の付属のネジにて固定します。

3. 三脚のチルトをしっかりと固定した後、カメラ台座(バランスプレート)を三脚に固定します。

4.カメラを装着する三脚ベースをカメラ台座(カメラ固定板)に付属のネジにてしっかりと固定します。

5.プロンプタ本体をカメラ台座の本体受板に正しく載るように本体底部のレールに合わせてスライドさせ、
挿入します。

6.プロンプタ本体とカメラ台座結合部のカメラ台座固定ネジ(2本)でしっかり固定します。

7.カメラ台座三脚固定板の上の三脚ベースにカメラを固定し、ロックネジ金具をゆるめてカメラを前後させ、
レンズの先端がプロンプタ本体の後端より少し前（0〜数cm）になるようにして固定します。

8.プロンプタ本体正面の天板ロック金具をはずし天板を上げます。

9.天板を上げた後、遮光カバーがきちんとレンズ先端部分を包み込むようにかぶせ、カバーの端のひもを締めて
遮光カバーを閉じるようにします。

10.プロンプタ本体に電源ケーブル(キャノン 4P)を接続します。

11.電源ケーブル(キャノン 4P)の他端をAC電源に接続します。

12.プロンプタに表示させる信号ケーブルを接続します。
HDP-2000 PC INコネクタとPCとをD-sub 15ピンケーブルで接続します。
プレイバック(HD-SDI信号)を表示する場合は、HD-SDI INコネクタにBNCケーブルで接続して
HD-SDI信号を入力します。また、PB INコネクタにHDP-RM1Aを接続します。

13. 本体の PC IN から 付属のD-sub 15ピンケーブルで プローマPCへ接続します。

14. ナレーターが見やすいようにプロンプタの位置角度をカメラの映りと合わせて三脚にて調整した後、
プロンプタミラーの角度(天板の開度)の調整を行い、左面パネルのロック金具を締めて固定します。

以上で組み立て(設定)は完了です。

■出画方法

1.PCまたはカメラを接続した後電源をONします。しばらくするとモニタ(液晶画面)に出画されます。
キャスターの方が見やすいように角度調整をします。

（注）PCおよびソフトを使用される場合はそちらの取説に従って操作して下さい。

2 .原稿書画カメラを使用する場合は、HD-SDI IN, VBS IN コネクタにBNCケーブルで、または
HDMI コネクタにHDMIケーブルで接続し、それぞれ切替スイッチを切り替えて使用します。

3. 原稿用カメラを正しくセッティングし、原稿が読みやすく表示できるようにします。

Proma ソフト ユーザーズガイド

PROTECH®
株式会社 日本ビデオシステム®

プローマPCの電源ボタンを押して起動します

プローマPCの電源ボタンを押すとWindowsXPが起動され、同時にPromaソフトが起動します。

原稿セットを作成します

Promaソフトを初めて起動すると、原稿セットの名称を入力するように促されます。
ここで任意の名称を入力して、「ＯＫ」をクリックしましょう。

原稿セットとは

９つの原稿ボックスを束ねたファイルだとお考えください。ここにそれぞれ異なる原稿を格納して、表示したい原稿をボタン１つで呼び出すことができます。また、原稿セットはいくつも作成することができます。用途や目的に応じて複数のセットを使い分けると、制限なくテキストを保存することができます。

画面の説明

1. 原稿セット新規作成

2. 原稿セットの削除

3. 原稿セットの一覧

4. 原稿ボックス

NEW　DELETE　Proma UsersManual

5. 文字サイズ

6. 行間

7. 表示モード

8. オンエアー

1、原稿セット新規作成：　原稿セットを新しく作成します。

2、原稿セットの削除：　現在表示している原稿セットを削除します。

3、保存原稿セットリスト：保存されている原稿セットのリストです。

4、原稿ボックス：　原稿を格納するボックスです。９つの原稿ボックスに別れています。

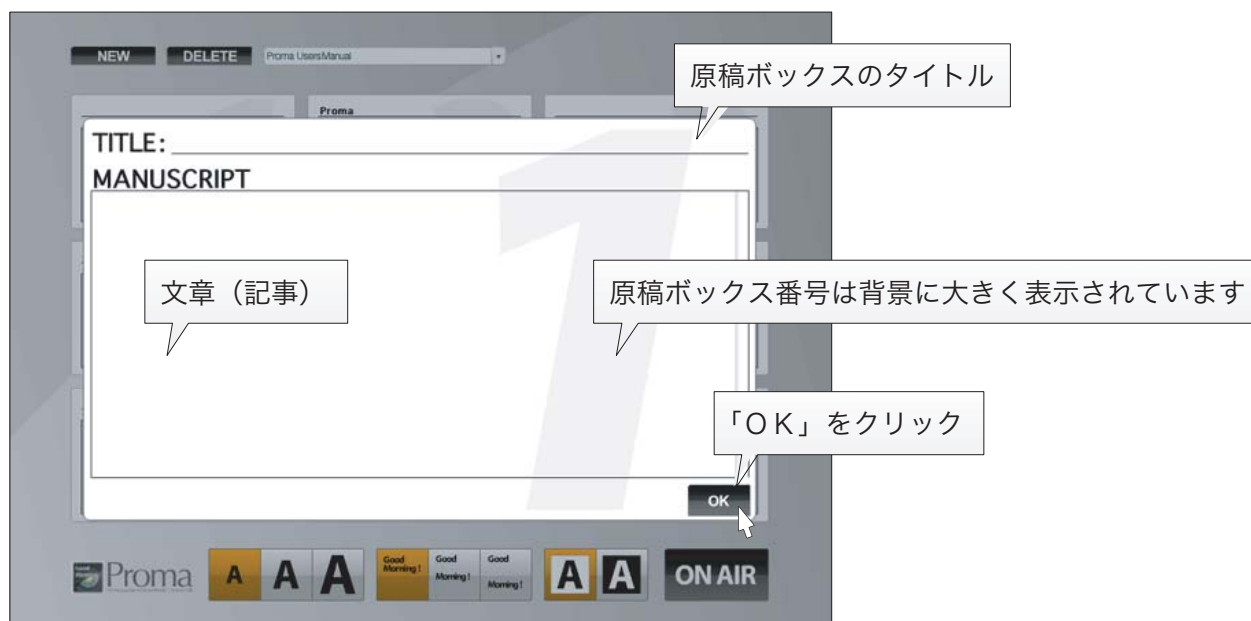
5、文字サイズ：　表示する文字サイズを３段階に設定出来ます。

6、行間：　表示する文字の行間を３段階に設定出来ます。

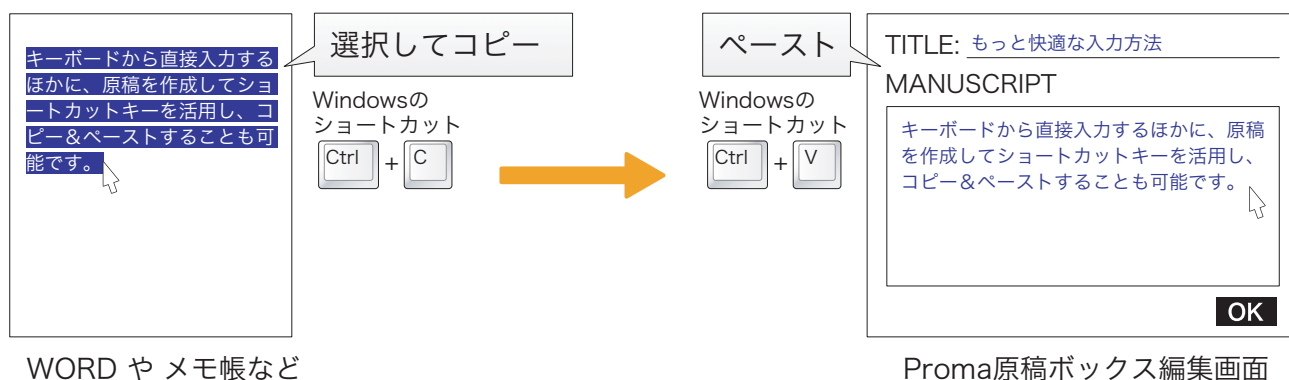
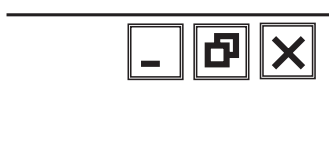
7、表示モード：　背景と文字色を設定出来ます。（２パターンのみ）

8、オンエアー：　実行ウィンドウに移ります。

原稿ボックスを作成します

原稿セットには９つの原稿ボックスがあります。画面上の１〜９の原稿ボックスをクリックすると、タイトルと本文入力画面が表れますのでここにPromaでスクロールしたい文章を入力してください。入力が完了したら、画面右下の「ＯＫ」をクリックしてください。

もっと快適な入力方法

キーボードから直接入力するほかに、原稿を作成してショートカットキーを活用し、コピー＆ペーストすることも可能です。または、右クリックによるコピー＆ペーストも可能です。

WORD や メモ帳など　　　　Proma原稿ボックス編集画面

※コピー＆ペーストを活用するには最大表示設定をなくす必要があります。
　標準設定にするには、ウインドウの右上の 🗗 キーをクリックして下さい。

入力作業が終了しましたら、キーボードの半角/全角キーを押して直接入力モードにしてください

見栄えを設定します

設定ウィンドウの下部にあるボタンで、スクロールの際の見栄えを設定することができます。
もちろん、既存の設定のまま実行ウィンドウに移っても大丈夫です。

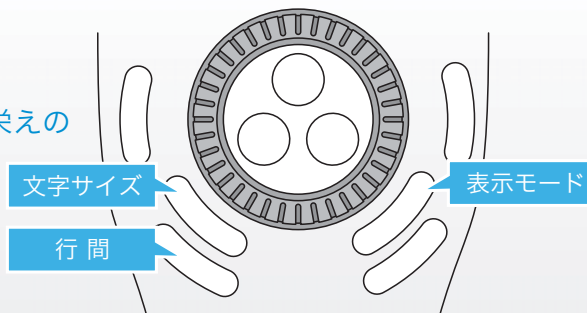
文字サイズ

表示する文字のサイズを選びます。大きくすると、ひとつひとつの文字が見やすくなり、小さくすると沢山の文字を表示できます。１行あたり15文字（小）、10文字（中）、7文字（大）が入るサイズに調整されます。

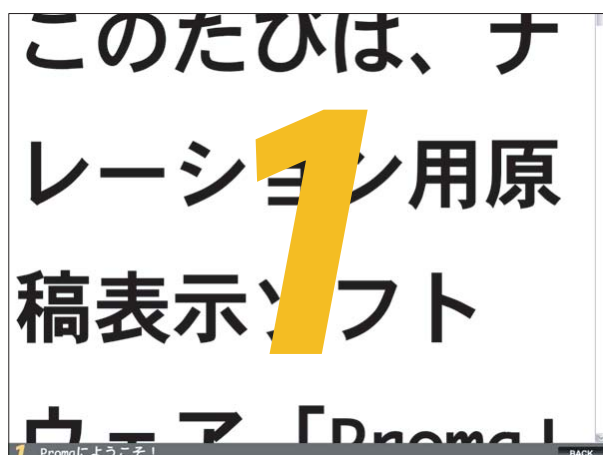
行間

改行のペースを調節します。広くすると行と行の隙間が大きくなってみやすくなり、狭くするとより沢山の行数を表示できます。66 %（狭）、100%（中）、150 %（広）の行間を表示します。

表示モード

背景と文字の色を設定します。「背景を白／文字を黒」にするか、「背景を黒／文字を白」にするかの選択肢があります。使用する環境や利用者の好みで使い分けてください。

実行ウィンドウを開きます
操作をおこなう前に直接入力モードになっていることをご確認ください

設定ウィンドウの右下にある「ON AIR」ボタンをクリックすると、実行ウィンドウがフルスクリーンで表示され、設定ウィンドウで書き込んだテキストが表示されます。（ON AIRボタンは、１番の原稿ボックスが表示される様に設定しています。）

それぞれの原稿ボックスは、キーボードの「1」〜「9」を押して呼び出すことができます。

[1] のキーを押すと、１番の原稿ボックスが呼び出されます。

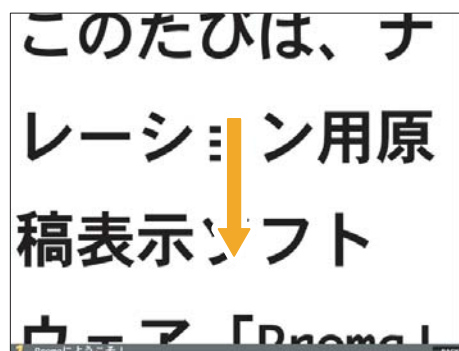
それぞれのキーに原稿ボックスが割り当てられています。

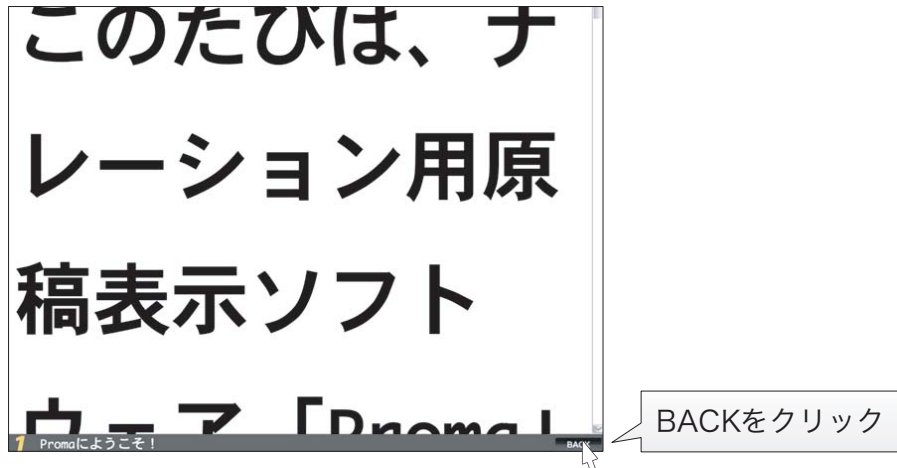
※原稿ボックスを切り替えると、画面中央に大きくボックス番号が数秒間表示されます。

スクロールします

キーボードの「T,Y,U」を押すと、テキストが上に向かってスクロールします。「R」を押せばスクロールは静止します。逆方向にはキーボード「Q,W,E」を押します。

下方向に動く
（逆読み）

上方向に動く
（順読み）

設定ウィンドウに戻るには

実行ウィンドウ右下の「BACK」ボタンをクリックします。

または、コントローラの”戻る”ボタンを押してください。

Promaを終了するには

プローマPCの電源ボタンを押してください。

コントローラ

1 2 3 4 5 6 7 8 9

原稿ボックス
セレクト
スイッチ

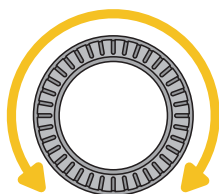
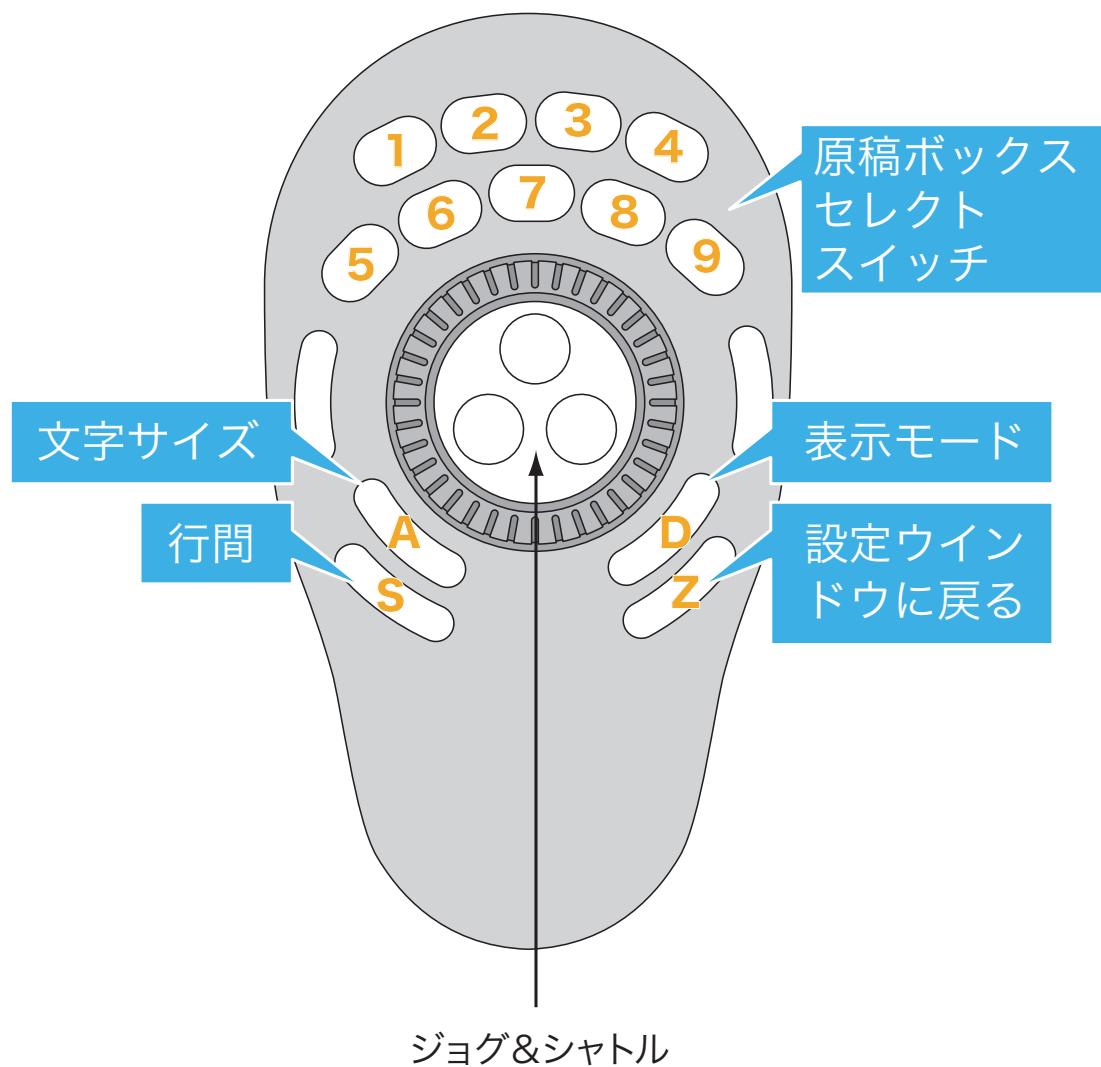
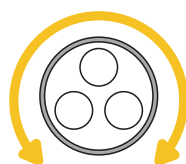
文字サイズ

表示モード

行間

設定ウインドウに戻る

A S D Z

ジョグ&シャトル

左に回すと、逆方向へスクロール
右に回すと、順方向へスクロール

左に回すと、一行戻る
右に回すと、一行進む

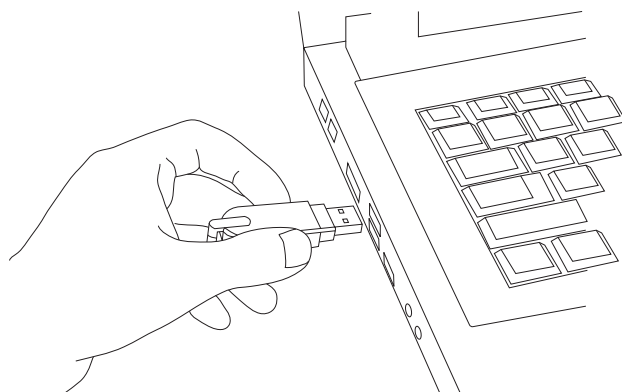
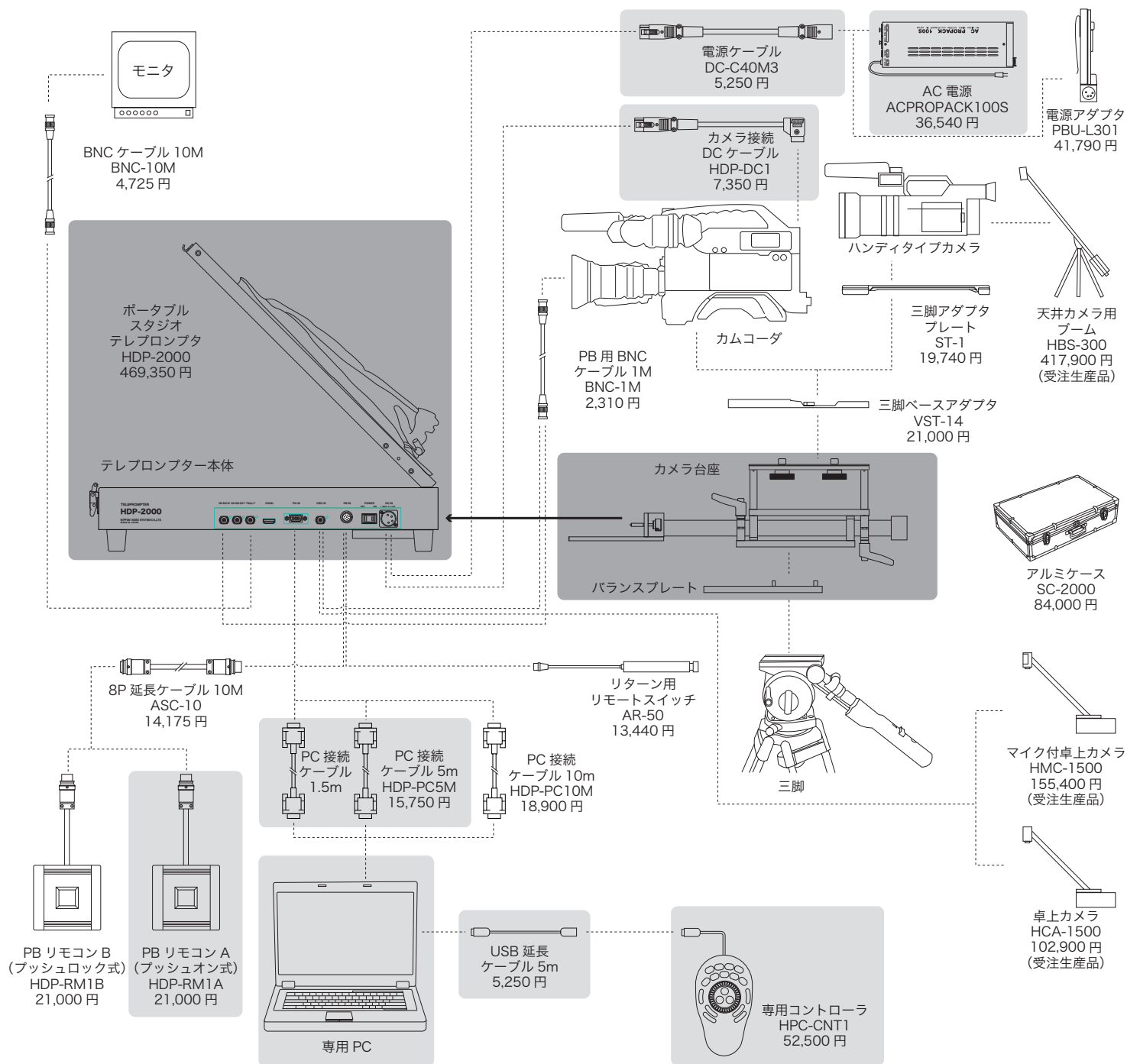
プロンプター本体に表示させるための設定

キーボードの"Fn"キーを押しながら"F8"(CRT/LCD)キーを押して下さい。

↑押しながら

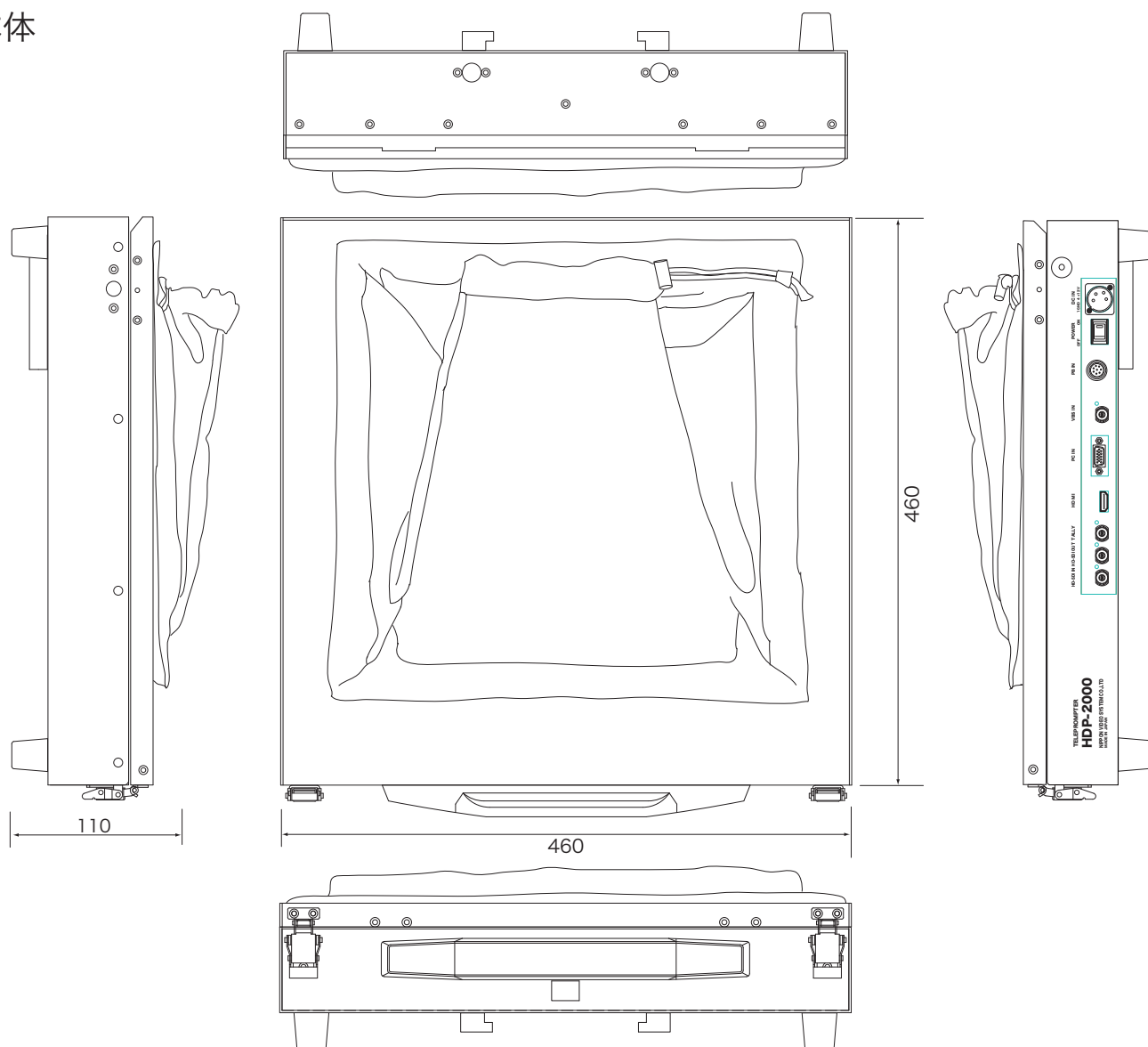
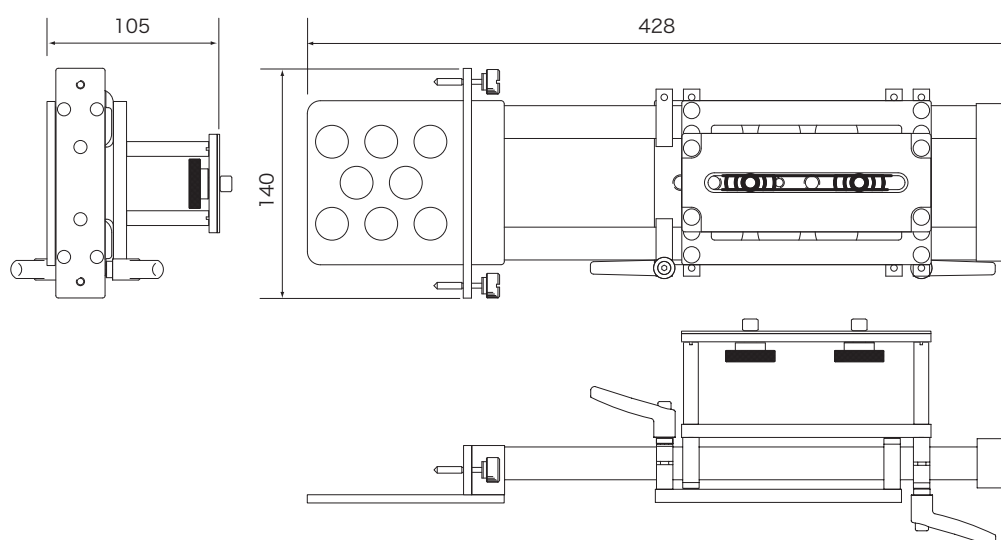
"F8"キーを押すたびに設定が切りかわりますのでプローマPCとプローマ本体と両方に映像が出力されるように設定してください。

他のコンピューターで作成した内容を読むための方法

その他にも、他のパソコンで作成した原稿のデータをUSBメモリー等のメディアに保存し、プローマPCへ移動させることも可能です。

システム構成図

HDP-2000 = テレプロンプタ本体 + カメラ台座

HDP-2000F = テレプロンプタ本体 + カメラ台座 + 専用 PC + DC 電源 + リモコン + ケーブル類

外形寸法図

本体

主な仕様

入力部	
HD-SDI IN	BNC x1
VBS IN	BNC x1 (コンポジット)
HDMI	HDMI x1
PC IN	D-Sub15P x1
出力部	
HDMI OUT	BNC x1
機　能	
タリー表示	LED x2 (緑タリー/赤タリー)
TALLY IN コネクタ	BNC x1 (タリー入力 : O V=OFF/2〜4 V=緑タリー/4〜5 V=赤タリー)
PB IN 切替	x1
MENU	x1 (操作パネル) 液晶表示モード設定用
DC IN 電源入力	XLR(キャノン)4P オス x1
使用電源	
DC入力	DC 11 V 〜 17 V 約 3.5 A
消費電力	約 43 W
一　般	
動作温度	0℃〜40℃
保存温度	-10℃〜50℃
質量	本体 約 9.9 kg　カメラ台座 約 2 kg
外形寸法	本体 約 460 x110 x 460 mm (幅x高さx奥行き)
	カメラ台座 約 140 x 105 x 428 mm (幅x高さx奥行き)
付属品	
HDF-2000本体/カメラ台座/取扱説明書/保証書/(HDF-2000Fのみ 専用PC/DC電源/リモコン/ケーブル類)	

アフターサービス

■保証書

本製品には保証書が添付されています。

お買い求めの際に販売店の押印がない場合は、無効となります。

保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。（送料等はお客様負担でお願いします。）

詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により

有料で修理させていただきます。

■修理を依頼される前に

故障かな？とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度

ご確認ください。それでも異状があるときは、お買い上げの販売店、または

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、または

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

○website http://www.protechweb.jp ○e-mail support@protechweb.jp

PROTECH® サポートセンター

☎ 0567-24-4581

○受付時間 午前10時～12時・午後1時～6時まで（土・日・祝日を除く）

（株）日本ビデオシステム プロテックサポートセンター

〒496-8005 愛知県愛西市諸桑町郷城２１８番地

TEL 0567-24-4581FAX 0567-24-4577

1302